

2012年7月12日

ロシア関連メモ 093

国際公共政策研究センター  
主任研究員 石野 務

## 「G20と世界経済の課題」についてのプーチン論文

### 1. はじめに

本稿では、2012年6月19日にメキシコで開催されたG20首脳会議の前日に、地元のエル・ユニバーサル紙に記載された「G20と世界経済の課題」についてのプーチン大統領の論文を紹介する。

### 2. 概要

#### (1)世界経済の問題について

- ・2008年の危機の影響がまだ残っており、予算の不足、問題を抱えた金融機関、新興国における借入の過多などの問題がある。
- ・世界経済の原動力の場所が、先進国から新興国に移りつつある。貿易や金融の流れも変化している。
- ・世界の金融構造は、まだ改革を必要としている。とりわけデリバティブ取引の規制を厳しくする必要がある。バーゼルⅢの金融規制の確実な実施を行う必要がある。
- ・新たな補助的通貨の参入を促進し、国際貿易や国際的な投資におけるその利用を拡大することが、我々の共通の利益になると考える。
- ・世界的な危機の際に職を守るために政府が取りうる、許容できるレベルの貿易保護について取り決めを行う時が来ている。

#### (2)G20について

- ・2008年以前は、形式的な、財務大臣の定期的な会合の場にすぎなかったG20が、経済や金融について公表する国際的なフォーラムとしての地位を得た。
- ・指導者たちが、貿易戦争や全面的な保護主義という袋小路に世界が陥ることを防ぎ、国際的な通貨システムや金融システムの正常化に取り組み始めたことは重要である。
- ・G20は、IMFや世界銀行などの国際的金融機関の改革を行う必要がある。これらの組織において新興国の地位と役割を改善すべきである。

### (3)ロシア経済について

- ・ロシアは、4.3%と、欧州では最も高い経済成長率である。準備金や金の保有において世界で第3位である。2008年とは異なり、ロシアの金融システムは、国際金融市場の揺らぎに対してよく保護されている。
- ・昨年ロシアは財政赤字から脱却し、わずかながらもGDPの0.8%にあたる財政黒字を計上した。ロシアの貿易黒字は1980億ドルに上る。
- ・しかし、原油や天然ガス市場から得られる歳入が減少すれば、ロシアは大きな財政赤字を被ることとなる。そのような原油やガス収入の減少から生じる赤字は、何年にもわたる危機をもたらすかもしれない。

### 3.コメント

IMFや世界銀行などの国際機関は、先進国ばかりでなく新興諸国の意見も採用しながら、問題解決を行っていくべきであるとの主張や、新たな補助的通貨の参入を促進し、国際貿易や国際的な投資におけるその利用を拡大することが、我々の共通の利益になるとの主張には、国際関係におけるロシアの立場を強化しようとする姿勢が見受けられる。

金融セクターについてはまだ改革が不十分であり、デリバティブ規制など新たな規制を早く実施していくべきであると強調している。欧州をはじめとする金融危機がロシア経済へ波及することを懸念しているものと考えられる。

ロシア経済については、成長率もあり国家債務の水準も低いことから現時点では安定しているとみているが、原油や天然ガス価格の価格低下が財政赤字につながるという危機感も表している。ロシアが、天然資源の輸出だけに頼らない経済構造の改革を求めている理由がここにあると考えられる。

### 4. 仮訳：「G20と世界経済の課題について」

4年前に、予期されていなかった危機が世界経済を襲った。これは全世界に波及し、すべての国が何らかの影響を被った。

世界の指導的な国々は、この重大な問題に対抗するためにその姿勢を根本的に変更しなければならない。歴史上初めて、世界のGDPの約90%を占める諸国の指導者達が、経済政策を統合しようとする熱意と能力を示している。

最も重要なことは、指導者たちが、貿易戦争や全面的な保護主義という袋小路に世界が陥ることを防ぎ、国際的な通貨システムや金融システムの正常化に取り組み始めたことである。

このようにして、2008年以前は、形式的な、財務大臣の定期的な会合の場にすぎなかったG20が、経済や金融についての公表する国際的なフォーラムとしての地位を得た。

G20のおかげで、危機の最も高まった時に、全ての国際開発銀行の資本金増強や、IMFの基盤増強といった方策がとられ、これらの機関が、危機において最も影響を受けた国々を支えることを可能とした。G20は、金融規制システムの改革にかかる長期的な課題を提示し、金融サービス利用者の権利保護のための基本方針の概要を示した。2009年に行われた金融分野における新たなルール作りのための調整組織として、Financial Stability Boardを設立することを指導者が決めたことは、疑いもなく重要なことであった。

しかし、まだ、全体的な問題がすべて解決したとは全く言えない状況である。2008年の危機の影響は、今日でもまだ認識できる。築き上げられた不均衡は、予算の不足、問題を抱えた金融機関、新興国における適切な水準をはるかに超えていると認識されるGDPに対する借入の割合などに表れている。さらに、ここ数か月に、市場では後ろ向きの傾向が見受けられ、その他の懸念される兆候も示しているため、アナリストはとても悲観的な予測を立てている。

これらの進行は、全世界の諸国に亘る変化の状況に応じて明らかになってきた。専門家は、2017年までの新興市場の成長は先進諸国の成長率を3.5倍以上、そしてその後15年間には2倍以上上回るものと予想している。世界経済成長の原動力の場所が移動するだけでなく、貿易や金融の流れも変化している。

この状況においてロシアはどのような立場をとるのであろうか。近年、世界で第6位の購買力を有するロシアは、金融や財政システムを強化してきた。我々は、準備金や金の保有において世界で第3位である。ロシアは、4.3%と、欧州では最も早い経済成長率を持っている。2008年とは異なり、ロシアの金融システムは、国際金融市場の揺らぎに対してよく保護されている。

ロシアは、危機的に高い水準の国家債務は負っていない。家計の借金は、他諸国の水準より低い水準にある。2012年4月1日の家計の借金は、GDPの10.6%であった。フランスやドイツは60%、スペインは87%、米国は92%である。2012年5月1日の公的借入は、GDPの9.2%であった。これは、G8やG20、そしてBRICSグループの中で最低の水準である。比較として示すが、ドイツは81%、フランスは86%、米国は104%である。昨年我々は財政赤字から脱却し、わずかながらもGDPの0.8%にあたる財政黒字を計上できた。我々は使うよりも多くの収入を得ることができた。ロシアの貿易黒字は1980億ドルに上る。

しかし、同時に、好都合な原油や天然ガス市場から得られる収入が減少すれば、我々は大きな財政赤字を被ることとなる。そのような原油やガス収入の減少から生じる赤字は、許容されるぎりぎりのレベルで、何年にもわたる危機をもたらすかもしれない。

我々は、改革のスピードを上げる必要があることを良く認識している。我々はこれを、持続性のある成長と、原材料の輸出への依存の縮小のために行う必要がある。従って、我々は、投資環境を徹底的に改善し、ロシアをビジネスの国際競争の場とし、インフラの弱い部分をなくし、人的資源を強化し、一般に経済の近代化を図っている。同時に、我々は、われわれの社会的な義務の順守を継続する。これらの改革は、ロシアのすべてのレベルの政府の極めて重要な課題の一部である。

今回の **G20** サミットは、不確実性が増大している時に開催される。**EU** の個々の諸国の深刻な財政状況の改善策を実施すること以外にも、世界のほとんどの国々は、財政の強化と厳格な予算規律を保ちながら、職の創造、経済成長、年金システムの安定性の持続を含む社会問題への対応などとの適切な均衡をとっていく必要がある。

金融セクターに生じた問題や市場を破壊した投機の規模は、世界の金融構造がまだ改革を必要としており、内在的なリスクや矛盾を抱えていることを示唆するものである。世界の金融構造は、まだ確固とした基盤を確保できていないし、現実の資産や価値に結び付けられていない。近時の金融市場における傾向は、まさに、膨らむ一方の、現実の分野の基本的な指標からの逸脱を示している。これは、金融恐慌の勃発に簡単に結びつく、一般的な自信の喪失や不安定さを助長する役割しか果たさない。

新たな手段をとることの必要性は明白である。とりわけ、我々は、デリバティブ取引の規制を厳しくする必要がある。我々は、バブルの発生を抑える新たなバーゼルⅢ金融規制の着実な実施を確保しなければならない。私は、新たな補助的通貨の参入を促進し、国際貿易や国際的な投資におけるその利用を拡大することが、我々の共通の利益になると信じている。最後に、**G20** は、**IMF** や世界銀行を含む国際的金融機関の改革という約束を果たさなければならない。特に、これらの機関の運営における、新興国や“新経済勢力”の役割の増強について話し合いを始め、これについて実務的な措置を取り、主な基本的な決定の起草や適用において、彼らが意見を述べるようにすべきである。

この件について、私は特に以下について強調したい。我々は、金融の不安定性が保護貿易主義の増加に必然的につながることを知っている。2009年に、世界貿易は12%減少したが、これは第2次世界大戦後最も大きい変動率であった。公表されていることに反するが、これは主として、ある国々が自国の市場を保護するために、大規模に厳格な保護貿易主義の政策をとったことによる。一方で保護貿易主義は受け入れられないと言いながら、例え

ば環境や技術的な制限などによって保護的な政策を隠蔽するなど、政府が、自国経済を保護するために洗練された方法を考案していることを認める時が来ている。

偽善はやめて、世界的な危機の際に職を守るために政府が取りうる、許容できるレベルの貿易保護についての正直な取り決めを行う時が来ている。これは、ロシアにとって特に重要である。なぜなら、今年ロシアはWTOに加盟する予定であり、我々は、国際貿易の将来の規則についての話し合いに積極的に参加しようとしているからである。特に、我々は、ドーハ・ラウンドにおける行き詰まりを破るために、いかなる努力も行うつもりである。

これらの多々の事柄は、すべてメキシコのサミットの議題に上っている。これらは、世界のエネルギー保障とともに、来年ロシアがG20の主催する際の優先課題に含まれている。我々は、G20が自信を持続することがどれほど重要なことか理解している。もしも我々の共同決議が、現実の履行も監視もなく、中途半端なままにされたとすれば、それは単なる高慢な宣言でしかない。

G20が、自己的に加盟国の利益だけを追求するエリートクラブにならないことを確かにも、同様に重要である。我々の活動の趣旨や目的は、世界経済すべてに亘る持続可能な発展のための公正な規則を制定することにある。これが、ロシアがロスカボスでのサミットでパートナーに示す方針である。

以上